

## 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

### テロ対策「彩の国」ネットワークの設立

平成27年11月20日(金)、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会テロ対策「彩の国」ネットワーク設立総会を開催しました。

このネットワークでは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、官民一体となった効果的なテロ対策の推進を目的としています。



### 参画事業者は62事業者

「彩の国」ネットワークには、官公庁12、公共交通機関・輸送事業者15、ライフライン事業者15、その他(宿泊施設、金融、養育業など)20の計62事業者が参画しています。



貴志本部長

#### 挨拶要旨

テロ対策は、警察の力だけでなし得るものではなく、行政と民間事業者、関係団体と力を合わせてこそ大きな力を発揮する。官民連携を今以上に強化すべく、テロ対策「彩の国」ネットワークを設立した。

県警、事業者、関係団体がネットワーク活動を通じてお互いに顔の見える関係を構築して「テロを許さない」気運を醸成し、テロ対策を推進していく。

#### 挨拶要旨

埼玉県では4競技が開催され、多くの観客の来県が考えられており、もしもの時には、重大な被害が予想される。

パリで起こったテロは、日本でも起こり得ることから、未然防止のために訓練を行い、様々な事態が起きても被害を最小限にし、救出ができる体制づくりをしなければならない。



上田知事



#### 講演

日本大学総合科学研究所の河本志朗教授が「国際テロの現状とテロへの備え」に関する講演を行い、同講演内で「イスラム国は、日本も標的としている。一人一人の警戒意識を高めていくことが重要」と訴えた。

設立総会におけるNHK等の報道各社の取材に対し、警備課の富岡理事官は「テロ対策は、従来から取り組んでいるが、さらに官民一体となり取り組んでいく。県民にも危機意識を高めてもらい、『オール埼玉』でテロに対抗していきたい。」と決意を語った。



ロゴマーク

オール埼玉での取組を表すため埼玉県章を中央に配置、県章の周囲にテロ対策「彩の国ネットワーク」を英語表記し、「アンチテロリズム彩の国ネットワーク」の頭文字「AT」と「SN」を県章の左右に配置。その下に赤い矢印を配置し、情熱を持ち前に進む意味合いを込めている。

『ATSN NEWS』は、東京オリンピック・パラリンピックにおける、テロ対策に関する各種推進状況や取組状況などを随時紹介していくものです。構成員の皆様の参考としていただきたいと思います。